

最近のできごと

2009.7.22

皆既日食in奄美

古代から様々な自然現象は世界中で多くの人々を魅了し、神話や天文学をつくりだしていましたが、なかでも太陽が月にすっぽりと隠れる皆既日食が、2009年7月22日に奄美大島北部とトカラ海峡周辺海域などで見られました。日本の陸域で見られるのは46年ぶりで、21世紀最長の長さだということで、世界の注目が奄美に集まりました。

当日、午前10時55分ころから、3分間前後、辺りは急に薄暗くなり、夕暮れのような不思議な現象が起こりました。皆既日食になる直前に雲がかかり、宇宙の神秘を感じた一瞬でした。



遮光プレートを使った日食グラスで観測する人々



皆既日食を見ようと、多くの観光客が集まった。



皆既日食の始まり

2010.10.20

Amami Area Heavy Rain Disaster:
Restoration and Recovery

奄美地方豪雨災害と災害復旧復興



災害で崩れた道路



不通になった城トンネル



災害時の住用総合支所 1階

〈奄美地方豪雨災害〉

平成22年10月20日の豪雨災害は、奄美の自然と我々の心にかつてない大きな傷跡を残しました。尊い人命が奪われ、道路の陥没、がけ崩れ、冠水が相次ぎ、多くの市民が避難所生活を余儀なくされました。

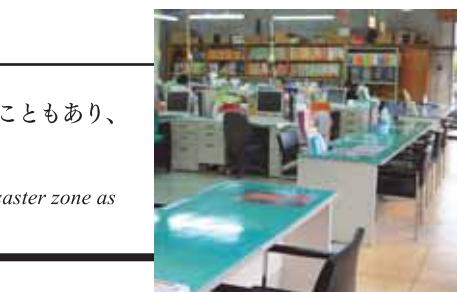
また、この災害では本当に多くのボランティア、支援物資、義援金などの暖かい手が差し伸べられ、人ととのつながりの大切さを痛感した出来事もありました。

On October 20th, 2010, the heavy rain disaster left a huge scar in our hearts and minds like nothing before in Amami. Helping hands reached out in the form of the many volunteers, aid and donations and underlined the importance of connections at such a painful time.

〈災害復旧・復興〉

奄美市全域が局地激甚災害に指定されたこともあり、復旧・復興が進みました。

The entire city was declared a serious local disaster zone as restoration and recovery progressed.



One Village, One Brand 一集落1ブランド紹介

Amami City is developing a One Village, One Brand project to utilize the island treasures extant in Shima villages to revitalize village life, and preserve and pass on unique culture.

本市では、集落(シマ)に色濃く残っている島唄や八月踊り、自然景観、特産品などの「シマの宝」を保存伝承し、またそれを活用して、奄美を訪れた方々とのふれあいや、シマンチュ同士のふれあいを生み出し、集落を元気にする一集落1ブランド事業に取り組んでいます。



1 佐仁八月踊り
(佐仁集落)



2 田イモ(たあまん)
(屋仁集落)



3 高倉
(川上集落)



4 赤木名観音堂
(里集落)



5 奄美一のガジュマル並木
(前肥田集落)



6 まえひだパパイヤ漬け
(前肥田集落)



7 エメラルドブルーの海と
天然の塩づくり体験 (打田原集落)



8 かくれ浜
(喜瀬)



9 用しゅんかねくわ踊り
(用集落)



10 八月踊り
(笠利一区集落)



11 宇宿稻すり踊り
(宇宿集落)



12 節田マンカイ
(節田集落)



13 芦花部一番の碑
(芦花部集落)



14 アッタドコネ(有良大根)
(あつた内会)



15 小湊厳島神社と金子山
青少年の森 (小湊町内会)



16 小湊フワガネク遺跡と
ソテツ畠 (小湊町内会)



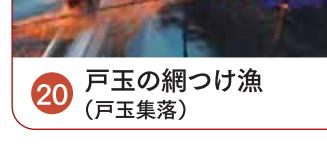
17 フナンギョの滝
(川内集落)



18 モダマ
(東仲間集落)



19 役勝エコロード
(上役勝集落)



20 戸玉の網つけ漁
(戸玉集落)



21 ターバマ(高浜)
(市集落)



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21

奄美市